

第513回（3月定例）福崎町議会

福崎町長 尾崎吉晴

皆様おはようございます。第513回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

明日からは啓蟄で、春の到来を実感する季節になりますが、今年の冬も総じて暖かく過ごしやすかったように思います。けれども、西播磨地域や但馬地域で冬の産業としてスキー場を経営されている方々にとっては、暖かい冬は死活問題となり、お困りであったのではないかと思います。兵庫県もスキー場支援対策の補正予算を計上されていますが、今後も気候変動の影響で暖冬が増えることが予想されますので、心配が尽きないところではあります。

今年は、新年早々に石川県能登地方で最大震度7の大地震が起これ、甚大な被害が発生しました。家屋の倒壊や道路、上下水道、電気などインフラの損壊、土砂崩れ、津波、火災などが発生し、地震の怖さをまざまざと見せつけられています。被災された皆様方には心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の皆様の安全・安心と一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

現在、全国から支援の手が差し伸べられています。兵庫県はカウンターパートとして石川県珠洲市を応援しています。本町としましても避難所運営支援として1月下旬から2月初めにかけて職員2名を派遣しました。

また、水道事業に関しては別の支援スキームがあり、2月下旬に石川県穴水町（あなみずまち）へ給水車とともに職員3名を派遣し支援を行ったところです。

これから長期にわたる支援になりますが、被災された方々に寄り添った支援活動を行っていきたくと考えています。

世界に目を向けてみますと、ロシアのウクライナ侵攻が一進一退の状況になっています。西側諸国がロシアに対して制裁を加えていることから原油価格や穀物価格が高騰しており、この状況はまだまだ続きそうです。アメリカ議会ではウクライナ支援の軍事予算が承認されず、自由主義、民主主義のリーダーであるアメリカの内向き傾向がますます強くなっているように感じます。また、イスラエルと武装組織ハマスの紛争も収まり

そうにありません。このような戦争や紛争は国民が望んだものだったのでしょうか。私にはそのようには思えません。そして、一番の被害者はいつも一般の人々です。世界の指導者は、今こそ知恵を出して一日も早くこれら戦争、紛争の終結を図っていただきたいと思います。

さて、今定例会には2か年をかけて検討してきた第6次総合計画の案を提案いたします。

全世帯アンケート、住民公募のまちづくり委員会、町職員によるワーキンググループ、策定委員会、そして、4名の議員にも参画いただいた総合計画審議会で意見や提案をいただきました。その計画案についてパブリックコメントも実施し、審議会の答申を得たものです。

町の将来像である「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち ～住んで 学んで 働いて 未来につながる福崎～」は継続します。今後の10年間でこの将来像を体現できるまちづくりを進めていきます。

令和6年度の予算は、その総合計画を進めるための予算としています。主な事業を申し上げます。

1点目は「子育て支援と教育環境の充実」です。

中学校までの給食費の無償化を6か月間継続します(49,973千円)。また、給食材料費の高騰分の町費負担を継続します(9,040千円)。出産間もない時期の産婦の健康診査費を助成します。(960千円)。辻川山公園に複合遊具を設置します(9,000千円)。小・中学校の特別教室に空調設備の整備と照明のLED化を実施します(421,000千円)。

2点目は「災害のない安全・安心のまちづくり」です。

公共下水道事業として、川すそ雨水幹線工事と直谷第2雨水幹線工事を計画的に進めます(261,400千円)。直谷第2雨水幹線工事は、令和6年度で完了の予定です。緊急浚渫推進事業により大内川の土砂撤去や伐木を実施します(9,000千円)。

3点目は「JR福崎駅へのアクセス道路の強化」です。

福崎駅田原線及び千束新町線の道路新設改良事業を着実に進めます(382,000千円)。

4点目は「都市計画の規制緩和」です。

令和5年度から特別指定区域の見直しを進めています。令和6年度は町域全体を空家等活用促進特別区域として指定したいと考えています。この指定を受けますと、市街化調整区域となる前に建築された住宅の除去後の敷地における住宅の新築や、築10年以上

経過した空家からカフェ・ホテル等への用途変更がしやすくなります。

5点目は「広域行政に係る事業」です。

中播北部行政事務組合では、次期ごみ処理施設の造成工事を進めています。並行して、令和6年度ではごみ処理施設の施工業者を選定し、実施設計を進めます(479,240千円)。また、中播消防署の本署及び北部出張所の建替えに関しては、用地取得や設計業務に取り組みます(192,141千円)。

これら事業に要する令和6年度一般会計の総額は、99億3,300万円で、対前年度比13億300万円、率にして15.1%の増となりました。

特別会計を合わせた総額は、対前年度比17億3,471万5千円、率にして11.3%の増となる170億4,534万5千円としました。

各課が取り組む主な事業は、次のとおりです。

【総務課】です。

令和5年度から職員の定年の段階的引き上げと役職定年制を施行、また、令和6年度から会計年度任用職員に勤勉手当を支給し、適正な人事管理と運営を行います。

福崎町コミュニティセンター「サルビア会館」は建設から46年が経過し、空調設備が劣化しているため更新し、町民の利便性向上を図ります。

岩手県遠野市と福崎町は、平成26年8月23日に友好都市共同宣言に調印しました。令和6年は10周年となるため、児童交流の遠野市訪問において10周年記念行事、遠野市産業まつりではガジロウの遠野市初訪問、福崎秋まつりでは遠野市の民俗芸能披露等により10周年を祝います。

【企画財政課】です。

電子入札制度を導入するとともに、自治体情報システム標準化事業に取り組みます。また、福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期)を策定します。

今後、広域行政による施設整備に伴い多額の財政負担が見込まれるため、持続可能な財政運営に向けて行政改革に取り組みます。

【税務課】では、貴重な自主財源である町税において、税目ごとの課税客体の的確な把握と課税に努めます。

あわせて国税徴収法、地方税法、町税条例及び債権管理条例などの規定に基づき、適正な滞納整理、債権管理を行うことにより、徴収率の一層の向上をめざします。

【地域振興課】では、1年を通して各種イベントを開催し、地域を元気に盛り上げます。

春の民俗辻広場まつりは、観桜会をあわせて開催します。夏まつりは花火、総おどりや夜店の出店、秋まつりは文化講演会と商工会によるステージ発表会などを行います。冬は好評だったF u k uランタン事業を実施します。

また、反響が大きかった手話ダンス甲子園を引き続き開催し、共生のまちづくりを進めます。

ふるさと応援寄附金事業では、寄附額の増額を図るためプロジェクトチームを立ち上げ、更なる自主財源の確保に努めます。

商工業振興では、円安に加えてエネルギー・原材料価格の高騰や労働者不足の中で、DX、インボイス制度の導入などの課題があり、地域の中小・小規模事業者にとって厳しい状況が続いていますので、福崎町商工会と連携して支援に努めます。

西部工業団地については、拡張構想に基づく事業手法の検討を進め、方向性を示していきます。

観光振興では、駅前・辻川観光交流センターを拠点として、辻川山公園の河童・天狗、妖怪ベンチを活用したにぎわいづくりに努めます。また、新しい観光アプリの導入や体験型観光コンテンツの開発など観光客受入れのための環境整備を図ります。また、22基目の妖怪ベンチ「砂かけ婆（ばばあ）」と劣化が進んだ池の中のガジロウを更新するため3号機を製作します。

【住民生活課】です。

町民が安全で安心して暮らせるように、福崎警察署の協力を得ながら福崎町防犯指導委員会と連携を図り、防犯活動に取り組みます。通学路の安全確保や防犯対策のため、防犯カメラを計画的に設置します。また、特殊詐欺被害対策として、65歳以上の高齢者を対象に自動録音電話機の設置補助を行います。

交通安全対策では、通学路のカラー塗装など通学路危険箇所の改善に努めるとともに、標識や啓発看板及び凍結防止ミラー等を計画的に設置します。

窓口では、戸籍法の改正に伴い、戸籍及び戸籍附票にふりがなをつけるため戸籍システムの改修を行います。児童手当は、10月から予定されている所得制限の撤廃、高校生

世代までの支給期間延長などに対応します。

環境衛生について、くれさかクリーンセンターは、積み替え運搬による姫路市へのごみ焼却委託を継続しながら、事務組合のあり方について姫路市と協議を進めます。

消防では、福崎町消防団あり方検討委員会を引き続き開催し、団員定数など消防団組織についての検討を行います。

【福祉課】です。

福祉サービスや相談支援について、第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画に基づいて事業を進めます。特に、手話を言語として使用されている方（ろう者）への町民の理解の促進、共生社会の実現のため「手話言語条例」の制定に取り組みます。

また、基幹相談支援センター事業では、引き続き、生きづらさをかかえ引きこもり状態にある人の支援として、大人の居場所づくり事業に取り組みます。

高齢者福祉事業では、高齢難聴者のフレイル予防及び社会参加の促進のため、補聴器購入費の一部助成を実施します。

巡回バス事業では、現行の運行体制を維持しつつ、さらなる利用の向上に努めます。

介護保険事業では、高齢者を取り巻く環境の変化による課題に対応するとともに、第9期ゴールドサルビアプラン（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）に基づき事業を進めます。

【ほけん年金課】です。

保健センター内に、こども家庭センター（ふくさきっこステーション）を設置し、すべての妊産婦、子どもとその家庭に対して切れ目のない相談・支援を行っていきます。

予防接種事業では、新たに、50歳以上の方を対象に帯状疱疹予防接種費用の助成を行います。

町ぐるみ健診の受診率向上と若い世代の健康意識の向上のため、引き続き国民健康保険の被保険者及び39歳以下の特定健診・基本健診の負担金を無料とします。特定健診未受診者対策として、未受診者のデータを分析し、対象者の健康意識等に合わせた勧奨メッセージを送り、受診を促す事業を新たに実施します。

【農林振興課】です。

地域における「めざすべき将来の農地利用の姿を明確化する」地域計画の策定を令和5年度に引き続き進めます。

農業構造改善施設運営事業では、稼働率が低く、維持管理費用の嵩む春日山キャンプ場のバンガロー3棟を解体します。

森林環境譲与税基金活用事業では、森林の公益的機能の保全や林業振興を目的に、町内民有林において間伐等の森林整備を行う者に対して補助金を交付します。

農地基盤整備では、高岡福田ほ場整備事業を推進するとともに、山崎地区ほ場整備事業の実施設計に着手します。

ため池整備事業では、(板坂)三谷池については工事完了を目指すとともに、(南大貫)宮の池の改修工事に着手します。

国土調査では、山林の地籍調査を引き続き推進します。

【まちづくり課】です。

道路整備事業では、通学路の安全対策として町道大貫山田線の道路改良事業を引き続き推進します。併せて、各集落内の道路改修や通行に支障をきたす危険箇所解消を進めます。

また、舗装長寿命化計画を更新するため、1、2級の主要な町道において、路面性状調査を実施します。

河川整備事業では、河川美化事業として、県河川である市川、七種川の草刈り等を実施します。また、直谷川では、漏水対策工事を実施します。

都市計画・まちづくり事業では、令和7年度に予定している「福崎町都市計画マスタープラン」の改定にあわせ、土地利用基本計画や特別指定区域などの見直しを行い、地域の実情にあった区域指定に向け引き続き取り組んでいきます。

空家対策では、令和5年度に策定した空家等対策計画に基づき、総合的かつ計画的に空家対策を実施します。令和6年度から、空家活用支援事業補助及び特定空家等除去事業補助を実施します。

【上下水道課】です。

水道事業では、八反田水管橋の耐震補強工事を実施します。工事期間は令和8年度までの3年間を予定しています。また、三ノ宮配水池送配水管更新工事は第二工区に進みます。

下水道事業の汚水整備では、令和6年度から農業集落排水の公共下水道への統合を進め、田口・板坂地区の設計に着手します。また、管理部門では、下水道使用料などの適正な水準について、上下水道事業審議会で審議いただきます。

【学校教育課】です。

公立幼稚園では、令和5年度に導入した保育業務支援システムを活用し、保育教諭の業務負担軽減と保護者の利便性の向上に努めます。

中学校の休日部活動の地域移行に対して、各種スポーツ団体等と連携協議しながら取り組めます。

GIGAスクール構想で整備したデジタル端末や授業支援ソフトを有効に活用するとともに、教育委員会系サーバやソフトウェアを更新し、新しい時代の学校教育を推進します。また、教育の「不易と流行」において「不易」にも重点を置きます。

小中学校に不登校指導員を増員するなど、増加する不登校児童生徒への対策を強化します。引き続き、学校教育指導員、学習支援員、介助員、スクールカウンセラーを配置するとともに、スクールソーシャルワーカーによる福祉の視点でのサポートにより教育課題の解決に取り組めます。

【社会教育課】です。

第45回山桃忌は「柳田國男の旅」をテーマに、講演会やシンポジウムの開催、また、「沖縄エイサーと沖縄芝居」の披露により「柳田國男生誕の地 福崎町」を発信します。柳田國男・松岡家記念館では、山桃忌のテーマに沿った企画展を開催します。

文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化を保存・継承するための取り組みを推進します。

埋蔵文化財事業では、昨年度に引き続き、高岡福田地区ほ場整備事業に係る本調査に取り組めます。

図書館では、「福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）」に基づき、各種事業に取り組めます。また、図書館応援隊の活動を支援し、図書館を基点としたコミュニティ活動の活性化を図ります。

エルデホールでは、自主公演の企画、運営により、地域の身近な文化振興・芸術創造の機会を提供します。

体育館では、各種スポーツ大会や健康教室を開催し、健康維持・増進やコミュニケーション活動の機会作りに取り組めます。

さて、今議会に提出いたします議案等につきましては、報告1件、議案32件の計33件です。

(略)

詳細説明は、公営企業管理者ほか、担当課長が行いますので、ご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます。